

日に日に春の訪れを感じる今日の佳き日に、東京都立雪谷高等学校全日制課程第七十四回卒業式を挙行できますことは、卒業生はもとより、在校生、教職員にとりましてこの上ない喜びであります。

本日は、東京都議会議員 もり 愛 様をはじめ、同窓会、PTA役員の皆様、並びに多くの保護者の皆様のご臨席を賜りましたこと、高い席からではございますが、教職員を代表して心より感謝申し上げます。

ただ今卒業証書を授与しました二百七十四名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

かけがえのない青春の一時を本校で過ごし、こうして立派に成長して巣立っていく皆さんは大変素晴らしく、誇らしさにあふれています。これはひとえに学業や部活動などを通して、時には挫折感を味わいながら、時には仲間とぶつかり合いながらも、仲間を思いやり、励ましあいながら、一つ一つ積み重ねてきた結果です。一生付き合える仲間にも出会ったのではないのでしょうか。私は、そのような皆さんの頑張っている姿を見ることが何よりもうれしく、楽しみでもありました。

また、皆さんの成長を心待ちにし、深い愛情で見守っていただいた保護者の皆様には、心より敬意を表します。今日のお子様の姿をご覧になり、さぞかし感慨もひとしおかと拝察いたします。

さて卒業生の皆さん、この雪谷高校での三年間はいかがだったでしょう。三年前の自分と比べて、今の自分の成長を感じられているでしょうか。

思い返せば、皆さんの高校生活は緊急事態宣言下でのスタートでした。雪谷高校に合格したものの、6月までは学校に登校することができず、入学式を始めとした、学校行事は全て中止となってしまいました。今まで当たり前だった人と人との触れ合いさえも制限を掛けられ、おおよそ思い描いていた高校生活とはかけ離れた現状に悩み、不安な日々を過ごしたかと思います。

我々教職員も、学校に生徒がいないという異様な状況や、感染対策を講じながらどうしたら皆さんが普段の学校生活を送ることができるかを考え、悩み、試行錯誤を繰り返してきました。

それでも皆さんは、現実をしっかりと受け止め、今自分ができていることに懸命に取り組んでくれました。2年次のころから、学校行事が徐々に再開されるにつれて、皆さんの笑顔も多くなってきたような気がします。今年度は、例年に近い状態で部活動や学校行事を実施することができて、皆さんの活躍を数多く見ることができましたが、特に、皆さんと一緒に行った長崎の修学旅行は、大変思い出深いものとなりました。皆さんの両手に一杯のお土産をかかえて、溢れんばかりの笑顔で心底楽しんでいる様子に出会えたことと、

その後は学年全体で気持ちを切り替えて、自分の進路実現のため真剣に勉強に励んでいた姿を見ていて、本当に実施できて良かったと安堵したものです。

担任の先生方も、皆さんが、このコロナ渦で不満や言いたいことも一杯あったはずですが、学年が進むにつれ、状況を考え、相手のことを思いやって行動できるようになるなど、人間的に大きく成長してくれたことが一番うれしいと話してくれました。中には、担任がいなくても自分たちで決めて行動できるようになったことが、逆に担任として寂しいとおっしゃっていた先生もいました。

今後は、それぞれ選択した道で大いに活躍をして欲しいと思っています。そして何より、幸せな人生を歩んでほしいと心から願っています。

皆さんは、このコロナ渦において多くのことを学んでいます。

このように誰もが想像できない状況で、多くの困難があったとしても、物事をポジティブに捉えて創意工夫して取り組むことが大切であり、「楽しいことをやる」のではなく「やることを楽しむ」という姿勢があれば、必ず乗り越えられるという事を。

そして、どんな時にも信じて、支えてくれた人々がいたから、乗り越えることができたという周りの人への感謝の気持ちを忘れてはいけないという事を。

これらの経験は皆さんが今後幸せな人生を送る上で、大きな糧となるはずです。

でも一番大切なことは、まず自分が幸せになることです。今までの頑張りに誇りを持つことです。たとえうまくいかなかったとしても、その時その時を全力でやり続けたからこそ、今があるのです。自分に感謝して、自分を誇りに思っ、心を幸せいっぱいにしてこれからの輝かしい未来を歩んでいってください。皆さんそれぞれが自分らしく、さらに大きく成長することを願っています。そして、もし仮に道に迷うようなことがあった場合、いつでもこの仲間のところ、母校に立ち帰ってきてください。それこそが『チーム雪谷』の本当の力だと私は信じています。

結びに、保護者の皆様には、このコロナ渦を含め様々なご心配されながらの三年間ではあったかと存じますが、本校の教育活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。本日、成長著しいお子様を保護者の皆様と一緒に送り出せましたこと、心より感謝申し上げます。

それでは卒業生の皆さん、皆さんの洋々たる前途が健やかで幸多きことを祈り、式辞といたします。

令和五年三月八日

東京都立雪谷高等学校長 豊岡 耕一郎